

平成30年度事業報告書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

特定非営利活動法人子育てほっとねっと

1 事業実施の成果

子育て支援事業では、那須塩原市ファミリーサポートセンターは8年目に入り、安定した運営を行うことができています。利用者ニーズにきめ細やかに対応することはもちろんのこと、リスクマネジメントにも力を入れている。つどいの広場「ま〜る」は、4月に再委託を契機に移転したことにより十分なスペースを確保することができ、また大通りに面したわかりやすい立地から、新しい利用者を増やしている。つどいの広場「ほっぺ」は、5年間の委託期間の最終年度となったが、再度公募に応募し、31年4月から5年間の再委託が決定した。自主事業のひとつである子ども食堂「みんなのテーブル」は、会場となっている知音食堂（NPO 法人ひなたが運営）の運営状況が刻々と変わるなか、それに対応すべく話し合いを重ねながら行っている。運営面でも課題も少なくないが、来場者数に波はあるものの楽しみにしてくれている人も多く、またボランティアとして新たに法人の活動に関わってくれる人が増えてきたことは大きな成果と考えている。準備を進めてきた家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」は、30年度の市民提案型協働のまちづくり事業に応募し採択となり、8月〜10月に子育て家庭を訪問するホームビジターの養成講座を行い、11月から事業を本格スタートさせることができた。予想以上の反応があり、すでに11件の申し込みがあった。

託児・保育事業は、今までで一番依頼件数の多かった29年度とほぼ同水準の依頼があり、少しずつ地域に認知されてきている。子育てに関する情報発信事業では、30年度も引き続き子ども・子育て会議、都市計画審議会、生涯学習市民会議、市民大学運営委員会、奨学生選考委員会、社会福祉協議会評議員会の他、市庁舎建設市民検討懇談会の委員の枠をいただき、子育て支援の見地から積極的に意見を述べてきた。また30年度に新しくできた那須塩原市市民活動センターの登録団体になり、センターの活動を盛り立てるべく積極的に利用する他、夏に行われた市民フェスタにも参加した。産業文化祭へも福祉まつりの部に引き続き参加している。法人本体のホームページもこまめな更新で法人の日々の活動をわかりやすく伝えており、年2回発行の会報「ほっとねっと通信」とともに、法人内外への情報発信に欠かせないツールとなっている。

念願であった家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」をスタートさせることができ、子育て家庭の「困った」になお一層幅広いアプローチができるようになった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 事業費の金額 (千円) |
|---------------|-------------------------|------|----------|-------------------------|--------------|----------------|
| 子育て支援事業 | ① 那須塩原市ファミリーサポートセンターの運営 | 通年 | 事務所 | スタッフ5名 | 地域住民 | 8209 |
| | ② 那須塩原市つどいの広場「ま〜る」の運営 | 通年 | つどいの広場 | スタッフ5名 | 地域住民 | 6579 |
| | ③ 那須塩原市つどいの広場「ほっぺ」の運営 | 通年 | つどいの広場 | スタッフ5名 | 地域住民 | 5270 |
| | ④ 子ども食堂「みんなのテーブル」の運営 | 通年 | 知音食堂 | ボランティア 17名 | 地域住民 | 277 |
| | ⑤ ホームスタート事業の運営 | 通年 | 事務所 | スタッフ3名 ボランティア 13名 | 地域住民 | 805 |
| 託児・保育事業 | 研修・講座等での集団保育 | 19回 | 公民館等 | スタッフ、有償ボランティアのべ 59名 | 地域住民 | 155 |
| 子育てに関する情報発信事業 | ① 市の行事への参加 市民フェスタ | 8月 | 市民活動センター | スタッフ、ボランティア7名 | 地域住民 | 23 |

